

自己評価報告書(最終報告)

報告者

教員養成特別コース／端村
達也

■平成25年度の目標に対する自己点検・評価

I. 学長の定める重点目標

I-1. 教員養成大学教員としての授業実践

中央教育審議会は、「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」答申したが（平成24年8月28日）、その中で「教員を高度専門職業人として明確に位置付ける」と提言している。この答申の考え方を実現するため、教員養成大学に籍を置く教員として、将来、教師を目指す学生に対してどのような授業実践を展開すればよいか。あなたの取り組みを、①授業内容、②授業方法、③成績評価の三つの観点から示してほしい。

1. 目標・計画

本コースは、実践的対応力を持つ教員として不可欠な児童理解力、授業構想・展開・評価力、学級経営力、協働力を備え、意欲的に教職に取り組むことができる新人教員を養成することが使命である。

①授業内容

教育政策の動向や学習指導要領の改訂等教育課程編成に係る動向を踏まえ、教育法規や生徒指導、学級担任役割や学級経営等、教師としての必要な教職教養の基礎を身につける。授業実践では、学生の研究テーマに沿った授業となる教材研究や授業づくり(指導案作成を含む)、省察を取り入れ、学生一人一人のニーズにあった授業内容を構成する。

②授業方法

学生一人一人の個性や実践力を考慮した授業となるよう、模擬授業や演習を中心とする授業形態をとる。

③成績評価

模擬授業や演習等における学生の取り組みをより客観的に評価するため、授業実践ごとにVTR録画を行ったり、授業力スタンダードを活用したりして振り返りを行う。

2. 点検・評価

①授業内容

教育政策の動向や学習指導要領の改訂等教育課程編成に係る動向を踏まえ、教育法規や生徒指導、学級担任役割や学級経営等、教師としての必要な教職教養の基礎を1年半のインターンシップを通して学校現場で身につける確かな実践力を身につけることができた。

授業実践では、学生の研究テーマに沿った授業となる教材研究や授業づくり(指導案作成を含む)、省察、と課題解決を取り入れ、学生一人一人のニーズにあった授業を実施することができた。

②授業方法

模擬授業や演習を中心とする授業形態をとり、学生一人一人の個性や実践力を考慮した授業を行うことができた。

③成績評価

模擬授業や演習等における学生の取り組みをより客観的に評価するため、授業実践ごとにVTR録画を行ったり、授業力スタンダードをはじめとする各スタンダードを活用したりして効果的に振り返りを行った。

Ⅱ. 分野別

Ⅱ－1. 教育・学生生活支援

1. 目標・計画

- ①emailを活用して学生相談への対応が円滑に行えるようにしたり、週録を改善・活用したりすることで、効果的にインターンシップが実施できるようにする。また、学生の課題に即した細かい指導を心掛ける。
- ②学生の質問や相談等、講義時間内に限らず、いつでも応じることができるように学生との良好なコミュニケーションを図り、気軽に相談できる雰囲気づくりを心掛ける。
- ③就職に関する面談を定期的を実施し、本コースにおける就職率の向上をめざす。
- ④教員採用試験対策(模擬テスト・面接・模擬授業等)を計画的に実施し、教員採用試験合格率の向上をめざす。

2. 点検・評価

- ①学生相談への対応がスムーズに行えるようにemailを活用した。また、ゼミにおいて、自らの教職経験を具体的に学生に紹介することで、学生の教師力向上に努めた。
- ②学生の質問や相談等、学生との良好なコミュニケーションを図り、いつでも気軽に応じることができるような雰囲気づくりに努めた。また、配属校での実習終了後なども利用して随時院生の質問や相談に応じた。
- ③本年度修了予定学生(P2)に対して、就職支援室と連携を図りながら、話し合いを通して、納得のいく進路指導を行った。
- ④年間を通して教員採用試験対策(筆記試験、面接、論作文等)を計画的に行い、前年度に比べて本コース修了生の教員合格率(P2 11人中6名合格 55%)の向上が図れた。

Ⅱ－2. 研究

1. 目標・計画

- ①学校教育における教育課程の開発や授業の開発等に関する研究を行う。
- ②本コース学生のための授業カチェックリスト(SaLCoR)の改善と効果的な使用方法を考え、インターンシップを通して、教育実践力の向上をめざす。
- ③授業実践においては、授業カスタンダードを改善し、授業実践力の向上を図る。また、子ども対応カスタンダードも改善し、生徒指導力の向上を図る。
- ④最終成果報告書の改善を行う。

2. 点検・評価

- ①学校教育における授業開発に関する研究を行うとともに、教育課程の開発や授業の開発等に関する研究を行った。
- ②本コース学生のための授業カチェックリスト(SaLCoR)の改善と効果的な使用方法を考え、インターンシップを通して、教育実践力の向上が図れた。
- ③授業カスタンダードや子ども対応カスタンダード、学級経営カスタンダード、教職人間カスタンダードの改善をし、教職に求められる確かな専門性を身につけた新人教員の育成に努力した。
- ④最終成果報告書の書式及び内容の一部変更をし、2014年度修了生(現P1)の最終成果報告書の改善に努めた。
- ⑤2014年度教員採用試験100%合格プランを計画的に実施し、合格率(P2 11人中6名合格 55%)の向上が図れた。
- ⑥2014年度鳴門市における実習校と運営・調整をして、実習実施計画を作成した。また、学生にとって、実習校で直面する課題の解決や自身の研究課題の追究等現場において確かな実践力を身につけられる実効性のある実習を推進した。

Ⅱ-3. 大学運営

1. 目標・計画

- ①基礎臨床教育学部部会議や専攻会議、コース会議に意欲的に参画し、任務内容を推進する。
- ②就職委員として、本コース学生の就職を支援する。
- ③教採実技ガイダンスに面接官として参加する。
- ④本コースにおける大学院生定員充足に向けて、計画的に大学訪問を行う。
- ⑤地域連携委員として、教育委員会や学校、地域と大学との連携を推進する。
- ⑥大学院入学者選抜試験班の一員として、問題作成や口述試験等を担当する。
- ⑦教職大学院連携協力運営チームの一員として、実習に係る企画・評価指導方法の改善・調整等について協議し、実効性のある実習になるよう努める。

2. 点検・評価

- ①基礎臨床教育学部部会議や専攻会議、コース会議に参画し、任務内容を推進した。
- ②就職委員として、本コース学生の就職を支援し、学校教員就職率の向上に努力した。
- ③就職委員として、就職支援チーム主催の教採実技ガイダンスに面接官として参加し、学生の就職を支援した。(3回)
- ④地域連携委員として、第38回鳴教大教育・文化フォーラムの企画・運営(シンポジウム司会)に携わった。
- ⑤本コースにおける大学院生定員充足に向けて、岡山理科大学等、計画的に大学訪問を行った。
- ⑥平成26年度鳴門教育大学大学院入学者選抜試験試験班の口述試験を担当した。
- ⑦教職大学院連携協力運営チームの一員として、鳴門市内小学校や附属中学校での実習に係る企画・評価指導方法の改善・調整等について協議し、実効性のある実習になるよう努めた。

Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

1. 目標・計画

- ①徳島県・鳴門市小学校研究会や小学校体育連盟を支援したり、積極的に参加したりする。
- ②鳴門市内の小学校を中心とした教育支援活動を行う。
- ③教育支援講師・アドバイザーとして、教育の質の向上に努める。
- ④徳島市教育委員会による、学校元気アップ推進事業に参画する。
- ⑤鳴門市教育委員会の委嘱を受け、委員として連携・協働をする。(教育論文審査・市教育の情報推進協議会)
- ⑥サッカーやスポーツ少年団等の企画・運営を通して、社会スポーツの向上に貢献する。

2. 点検・評価

- ①鳴門市小学校研究会に参加し、協働して研究を推進した。また、鳴門市小学校体育連盟の行事(体操発表会・陸上運動記録会・水泳大会)の役員として企画・運営した。さらに、小体連と連絡調整をして、SRの学生をボランティアとして参加させて、より一層の鳴門市内の教職員との交流を深めさせることができた。
- ②教育支援講師・アドバイザーとして、鳴門市内小学校児童の体力の向上に支援した。(前期4回, 後期1回)
- ③鳴門市教育委員会の委嘱を受け、委員として連携・協働を図った。(教育論文審査・鳴門市教育の情報推進協議会)
- ④県、市サッカー協会の一員として、大会の企画・部会の運営を行い、県、市における社会スポーツの向上に貢献した。

Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)